

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成31年4月18日（木）

3. 調査の対象

泉佐野市立長南小学校 第6学年，全児童

実施児童数 60人

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

- ア 教科は、小学校は国語及び算数、中学校は国語、数学及び英語。
- イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、知識・技能に関する内容と、それらを活用する力や構想を立てて実践し評価・改善する力などに関する内容とする。
- ウ 出題形式については、国語及び算数・数学においては、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。英語においては、選択式、短答式及び記述式の問題に加え、「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口頭式によるものとする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施する。

(3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童生徒が在籍する学校を対象に、学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施する。

※平成29年度より、文部科学省から示される都道府県の平均正答率及び市町村の平均正答率は、整数となっております。

平成31年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べて上位層がやや少なく下位層がやや多く分布している。
平均正答率（本校 55／泉佐野市 59／大阪府 60／全国 63.8）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語	特徴がみられた設問	
<設問番号3一> ○話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする。 (60.0/81.3) <設問番号3二> ○目的に応じて質問を工夫する。 (48.3/67.4) <設問番号1四(1)ウ> ○学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う。 ア(たいしょう) (30.0/41.9) ウ(かんしん) (16.7/35.6)	<設問番号1四(2)> ○文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く。 (30.0/47.8) <設問番号1三> ○目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く。 (18.3/28.8)	

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	45.0	64.2	○	19.2
国語の勉強は大切だと思いますか	86.7	93.0	◇	6.3
国語の授業の内容はよく分かりますか	80.0	84.9		4.9
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思いますか	90.0	91.2		1.2
国語の授業で学習したことを普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか	68.3	76.9	◇	8.6
国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか	63.4	78.1	○	14.7
国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝えるように理由を示したりするなど、話や文章の組み立てを工夫していますか	58.3	68.5	○	10.2
国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、分章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいますか	58.4	71.4	○	13.0
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	98.3	97.8		0.5

○記述式の問題について3問のうち2問が全国の正答率を上回ったことや無答率が低いことなど、これまでのとりくみによる成果が表れている。

○長い文章を順序や構成に気を付けて読み取ること。また、そこから必要な情報を読み取ることには課題がある。

○漢字を文中で正しく使うこと。特に同音異義の漢字を書くことについて課題がある。

平成31年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

- ・平均正答率は全国と比べてやや低く、特に除法の理解や計算に課題がある。
平均正答率（本校 60／泉佐野市 65／大阪府 66／全国 66.6）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

算数	特徴がみられた設問
〈設問番号1(3)〉 ○示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる。 (28.3／43.9)	〈設問番号3(3)〉 ○示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる。 (65.0／74.9)
〈設問番号2(3)〉 ○資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる。 (31.7／52.1)	〈設問番号4(2)〉 ○示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる。 (58.3／68.6)
〈設問番号3(2)〉 ○示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる。 (13.3／31.1)	〈設問番号4(3)〉 ○場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断できる。 (50.0／62.6)

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	66.7	68.6		1.9
算数の勉強は大切だと思いますか	90.0	93.7		3.7
算数の授業の内容はよく分かりますか	86.6	83.5		3.1
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思いますか	95.0	92.5		2.5
算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	71.6	76.5		4.9
算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	78.3	79.1		0.8
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	83.3	82.0		1.3
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	83.3	82.1		1.2
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	78.4	84.0	◇	5.6
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	71.7	87.0	○	15.3

○図形や、加法と乗法の混合した整数と少数の計算は、全国よりも約5ポイント高くなっており、また、設問全体の無答率も全国を上回っている。

○除法の理解や計算に課題がある。

○記述式解答に課題がある。

平成31年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【自分自身について】	先生に自分を認めてもらっているという児童の割合が全国を上回っている。 授業やテストで間違えたところを先生に分かるまで教えてもらっていると思っている児童の割合が全国を上回っている。	(6) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。 そう思う<63.3/43.1> (7) 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。 そう思う<73.3/59.5>
【家庭生活について】	朝食を毎日食べている児童の割合が全国を下回っている。 毎日同じくらいの時刻に寝起きしている児童の割合が全国を下回っている。	(1) 朝食を毎日食べていますか。 そう思う<63.3/86.7> (2) 毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。 そう思う<31.7/38.9> (3) 毎日同じくらいの時刻に起きていますか。 そう思う<53.3/58.7>
【家庭学習について】	家庭で読書をする児童の割合が全国を下回っている。 読書を好きと思っている児童の割合が全国を下回っている。	(19) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を行いますか。 全くしない<45.0/18.7> (21) 読書は好きですか。 当てはまる<35.0/44.3> 当てはまらない<25.0/8.3>
【学校での学習の様子について】	授業でICTを活用したいと思っている児童の割合が全国を下回っている。	(28) 授業でもっとコンピューターなどのICTを活用したいと思いますか。 当てはまる<46.7/60.8>

本校の取組

◎これまでの取組

【学習面】

- (1) 少人数習熟度別指導
算数と国語を中心に、1つの学級を複数の教員で指導し、よりきめ細かな指導、発表や質問がしやすい環境をめざしています。
- (2) 長南タイム（朝学習）
1時間目の授業が始まるまでの10分間を活用し、読書や漢字にとりこんでいます。
- (3) サポートタイム（放課後学習）
金曜日の放課後、家庭と連携を取りながら、学習に課題があった子どもたちと学級担任が、個々の課題を克服するためにじっくり時間をかけて頑張っています。
- (4) スキルアップルーム（学期末学習）
5・6年生の希望者を対象とし、子どもたち自らが進んで自学自習する態度を身につけることができるように実施しています。
- (5) 算数サポーター（月、火、木、金曜日）
算数の授業に入り込み、子ども一人ひとりによりきめ細やかな支援を行います。
- (6) 「すき間時間」の活用
課題が早く済んだ時などにできる僅かな時間を利用して、自分でとりくむことを決め、自学を進めています。

【生徒指導面】

- (1) いじめアンケート、生活アンケートを実施
- (2) 学期の初めにセカンドステップを実施
- (3) 挨拶キャンペーンを実施

◎これからの取組

【学習面】

- (1) 国語、算数
長い文章の順序や組み立てに気をつけて必要な情報を読み取ったり、漢字を文章の中で正しく使ったりできるようなとりくみを進めます。
わり算の理解や計算につながる各学年に応じた学習を進めます。
- (2) 少人数習熟度別指導
少人数習熟度別指導、基礎基本の定着、コミュニケーション力向上のとりくみを進めます。
- (3) 長南タイム（朝学習）
漢字の定着を意識したとりくみを継続します。読書の質を高め、量を増やします。
- (4) サポートタイム（放課後学習）
継続します。
- (5) スキルアップルーム
継続します。また、4年生も参加できないかを検討します。
- (6) 算数サポーター
継続します。
- (7) ノートの活用や工夫
よい実例を紹介し、自学の楽しさやノートの工夫の便利さ等を感じさせるため継続します。

【家庭学習面】

- ・家庭での学習の仕方（質や量）について、定着を図ります。

【生徒指導面】

- (1) いじめアンケート、生活アンケート 継続します。
- (2) セカンドステップ 継続します。
- (3) 全委員会の児童（5・6年生）による挨拶キャンペーンを継続します。